

2008-04-07(月)

■カラスミ騒動(1)

4月です。

桜も満開となり、上野のお山には連日朝早くから、人が数多く詰めかけています。

日本人は桜が好きですね。かく言う私も桜の花は大好きで、
犬の散歩のつれづれにあちこちで花見をしております。

今回の日記は、グリコンとしての反省も含んだ、奥の深いものです。

自分へのお年玉として購入したカラスミ(ボラの魚卵の薫製)。
日本酒の好きな方ならば、おつまみに召し上がる方も多いのではないのでしょうか。

少しゆっくりした休日の夜、やっとカラスミの出番が来ました。
薄くスライスして、皿に盛りつけ「さあ、いただきましょう！」。

口にした瞬間、異臭が口腔から鼻に抜けました。
カラスミはこんなものではないはず。おかしい。

昨年来の食品問題もあり、即、購入先に問い合わせをしました。
現物を返送し、待つことしばし。
製造元から回答が来ました。
その回答とは……。 (つづく)

(於弥木)